

黎的

明主様御真筆

発行所  
京都市左京区吉田神楽岡町3  
有限会社洛東社  
郵便番号606  
電(71)2022番  
定価1部40円

榮光新聞(「光」)  
 地教大集  
 頂取集  
 光華集  
 奇蹟集  
 說部集  
 儒學叢書  
 儒學叢書

丁巳

先賢(十五号)では、私共人間にとつて最も究極的な「生命」の問題の中で、特に重要な「病氣」についての基本的な御教えの一つを拝読させていただきまし

明主様の御求に  
ついて

(その12)

浄化作用(二) 会長 多田 光行

いることを前提として、この御論文の中のいくつかの問題を少し考えさせていた  
だきたいと思います。

明主様は、先ず最初に「人体を物質と見做して、唯物療法を進歩させてきた医学は、どの点に最も欠陥があるかを、順を遂うてかいてみる」と仰しやうて居られます。私共にとつて最も大切な「生命」の分野を受けもつてきた医学の功績、殊にそのためにはらわれてきた多くの方々の真摯な絶えざる努力を決して忘れることは出来ません。しかし乍ら、今後私共人間にとつて最も重要な「生命」「病氣」の問題を解決するにあつての根本的なあり方を再検討すべ

私共は、救い主明主様より  
「一人でも多くの人間を救はん」がために最後の救いの綱として、神様が人類に与えて下さった御教えを、世界中の誰よりも早くいたたいのたのであります。明主様は実に深いところから「生命」「病氣」の問題、現代医学の反省すべき点、今後の医学の進むべき道を説いて下さって居ります。それを私共が、通り一遍の拝読によつて、自己流の表面的な解釈だけに終わつてしまひ、更に正しく深く掘り進めたいと努力もせず、しかもその表面的な、ややもすると誤った解釈を世の中の方々に伝えて、多くの人々を、明主様の御教えからかえつて遠ざけてしまつたり、中には感情的な対立感さえ抱か

対象とする事と、人間と動物を同一に視ている点で、之が主なるものである事を知らねばならないのである。

「人体を單なる物質と見做して」きた現代医学に対する反省は、近頃、医学の分野に於てかなりなざれつがあるようであります。以前にも申し上げましたが、昨年に開かれた医学会総会の会頭をされた沖中博士が、かつてある雑誌の、最近における診断及び治療上の進歩、という特集のまとめの中で、「近代医学のすめ方によつて、ややともすると患者を人から物として見、扱う傾向が我々の頭にしらずしらず潛入してくるおそれを生ずるのである。」(日医新・45・2・7)と云われて居ります。勿論この場合は、明主

明主様は、今までの医学のあり方で最も考えなければならぬ根本的な問題を、別の御論文の中で二つ示して下さつて居ります。

「人体を單なる物質と見做して、唯物療法を進歩させて來た」現代医学の今後進むべき方向を示す指針の一つとして、このような分野の一層の研究が望まれるわけであります。心身医学或は外のあらゆる分野の専門家が、例えば一つの奇蹟にふれた場合、夫々の立場からどこまでも徹底的に、但し先入観なしに、それ

私共は、明主様の御教えを、一人でも多くの方々に、一日も早く、正しく、純粋にお伝えさせていただくために、遅ればせ乍ら絶えざる正しい拝読・勉強をこれから続けさせていただかなければならぬと思います。

明主様は、今までの医学のあり方で最も考えなければならぬ根本的な問題を、別の御論文の中で二つ示して下さって居ります。

「現代医学の欠陥は、霊と体で構成されている人間を、霊を無視して体のみを

な御折衝やお題目によつて現われまします。神<sup>①</sup>ではなく、より多くの近代科学の裏づけに支えられ、これと矛盾するところのない、神<sup>②</sup>でなければなるまい。このような大問題に対する解答のすべてが、心身医学によつて与えられるものではない。心身医学。しかし心身一如の形における人間像を科学しようとする心身医学の歩みは、将来とも心理や教育と医学科学と宗教とをつなぐが橋として発展してゆくことが予想される。また、これによつてむだな投薬や手術などが省かれ

せしてしまつてきたことも少なからずあつたことを深く反省させていただかなければならぬと思います。私共が御教えの勉強を怠つてきたために、いかにゆがめられた形で明主様の御教えが世の中に伝えられてきたか、また御発表いただいてから已に二十年もたつた現在に於て御教えの存在すら全然知らない世の中の人々がいかにか多いかを考えました時に、私共はどのように明主様にお詫言ひ申上げてよいのか、その言葉を見出すことが出来ぬのであります。今こそ世の中のあるゆる分野の方々が、夫々の立場で御教えによれさせていただかれ、その中に説かれてある深奥なる真理を正しく掴ませていただき、お互いに手をとあい、すべての分野の人々の協力によつて、全人類はこの重大な難関を誤りなくのりこえさせていただかなければならぬと思います。

様の言われる。霊と体の問題として、  
は、なく、医師と患者の間の人間関係、  
のつながりの問題としてとりあげて居  
れるようであります。最近、人間は心  
肉体とが一体をなすものであり、心も  
くの体の病に大いに関係があるという  
場から診察、処置をしていこうとする  
学、「心身医学」が、医学の新しい分野  
して脚光を浴びてきて居るとのことであ  
ります。「心身医学」については、また四  
の機会に考えさせていきたいと思います  
て居ります。その分野の我が国の権威で  
ある池見博士はその著書「心療内科」の  
中で、「現代の新しい心理学や心身医学は  
人間としての幸福の問題についても教育  
者、哲学者、宗教家にはまかせきりに  
しておけないところまで進んできている  
の」とすれば、それは哲学的冥想、原始的

1面からの続き

らを追求されることは今後大いに必要なことであると思います。池見博士も述べておられますように、今までの「信仰による奇蹟的な治癒」といわれるものも、現在の進んだ心理学、心身医学の立場からすれば、なにも不可思議なことではない、あるいは多い。すなわち信仰によって、本人がもとも持ち合せていた治癒力が最高度に発揮されるような条件がつくられたのであり、当然の現象と説明できる。ばあもあることを全く否定することは勿論できないと思います。一方、ある一つの現象の中にも、科学の範囲内で説明し得る部分と、それが出来ない分野との両方を含んでいると考えてよいと思います。私は、科学によって理解できる部分までも、安易に何か神秘的な説明を試みようとするのは厳に慎みなければならぬと思います。すべての現象が既成の知識や今までの考え方の範囲内で説明できるかのような錯覚に陥り、その範囲内の説明で十分であると考えたり、知らず識らずのうちにその立場・考え方を根本基準としてすべての現象を解釈、判断するようなことになってはならないと思います。

明主様は

「人智によって生れた学問上の研究理論ではなく、神の啓示を土台とし、実際に得た真理」を私共に説いて下さっているわけであり、これらの御教えや、神様の絶対力によってあらわされた奇蹟の中にある神様の御心を、私共

の不勉強のために世の中の方々に正しくお伝えできず、ややもすると非常にレベルの低いゆがめられた受けとり方をされていることが少からずあることは大変申し訳ないことであります。ここで今後私共が「生命」「病氣」の問題にとりこんでいく場合「人間」を先ずどのように考えていかなければならないかについて、明主様が説いて下さった御教えのいくつかを拝読させていただきたいと思っております。

「人体は見る肉の体と見えざる霊の二要素から成立しており、体と霊とは密接不離の關係にある。人間が生命を保持しているのも此の兩者の結合から生れた生命力によるのである。だが茲に一つの法則がある。それは霊が主で体が従であつて、之は事實がよく示している。即ち人間霊の中心である心に意識が起るや体に命令し行為に移るのであるから、霊こそ人間の本体であり、支配者であるのは明かである。〔中略〕右の如く人間は霊と体との兩者で成立している以上、肉の体のみを対象として出来た科学では、如何に進歩したといつても畢竟一方的跛行的であつてみれば、眞の科学は生れる筈はないのは分り切つた話である。之に反し吾々の方は霊体兩者の關係を基本として成立つたものである以上、之こそ眞の科学でなくてはならない。」

「初めから理解する事は困難であらうが、此の著の説く処科学の根本をも明示してあり、悉くが不滅の真理である以上、十分検討されるところ、理解されない筈はないと思ふのである。

之に就て重要な事は、今日までの學者

の頭腦である。それは彼等は宗教と科学とを別々のものとして扱つて来た事で、此の考え方こそ大きな誤りであつたので、それを根本から解明するのが此の著の目的である。そうして地球上に於ける森羅万象一切は、相反する二様のものから形成されている。それは陰陽、明暗、表裏、霊体というようになつてゐる。だが今日のまでの學問は体の面のみを認めて霊の面を全然無視してゐた事である。というのは霊は目に見えず、機械でも測定出来なかつたからであるが、其の爲學問では今日まで地球の外には、只空氣と電氣だけの存在しか分つてゐなかつたのである。だが私はそれ以外確實に存在している靈氣なるものを発見したのである。之に就ては先ず地球上の空間の實體からかいてみるが、それは斯うである。即ち前記の如く靈氣(火)空氣(水)の二要素が密合し一元化した氣体のようなものが、固体である地塊(土壤)を包んでおり、此の三要素が合体して、宇宙の中心に位置している。之が吾々の住んでいる世界及び周囲の状態である。だが科学は右の空氣と土壤のみを認めて、靈を認めなかつたが、空氣と土壤の二要素のみを対象として研究し進歩して来たのであるから、言わば三分の二だけの科学で全体ではなかつたのである。此の根本的欠陥の如何に進歩発達したといつても、三位一体的真理に外れてゐる以上、現在の如き學理と實際とが常に矛盾してゐたのであるから、此の欠陥を発見し是正しない限り、眞の文明世界は生れる筈はないのである。」

自然農法の御教え

①

一、自然農法の原理

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」

「神の御心は、自然の法則に基いて、万物の生長を導いて下さる。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。」



会長先生から御祈願をいただき、御神前を理めた参拝者

地上天国祭を祝う



地上天国祭のアーチをくぐつて続く参拝する信者様

「地上天国祭」は、神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。

「地上天国祭」は、神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。

「地上天国祭」は、神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。我々も神の御心を学び、自然の法則に従ふことが、自然農法の第一である。





2人の方に幸福分かち得て 浪内美佐緒

今年の始めの頃、支那の青年の会合で、支部長（支那の青年の会）が、支那の青年の会から、今年には宗教の年であるからと、色々お尋ねする御教え及び手紙。そしていまだその手紙に對しての甘い言葉、またに結婚したいきよと云ふ、なかなかお尋ねを思ひだされる方々もあらはれ参りました。

三月五日の日曜例祭に食後生り、舞臺新築をいひなせ参りました。その中で、先生が「明王様か御舅夫あはさばてか子や」

バスの縁、入信に導く 星野治代

[illegible]

手術直前にお救い

高山惠子

[illegible]

も equal されてゐます。御守書に  
はきてございと頼まれていた  
ですが、なかなか支那へ来れな  
ずになりました。いつも御守書通  
いながらの通りにならぬこと  
に、私は何かつても大切なこ  
を落れているよな気がしてしま  
した。その方は御守書を断然所  
持し、  
御守書拜見しようとしたならば、  
私はもう御守書にきていただ  
くとはきません、といつてお  
断りたてまい、と皮肉め笑ひに御  
慰まいいただきました。  
そこで私はさうぞ、御師門にて  
その方が早く主王様の元参とい  
た方が早きようにお祈りしてい  
ました。

明王様御守護の力がござんとい  
ふことがよく分りました。それが  
かいていくといふことです。こん  
ごは、さらに一人も多くの方々  
へ御守書の取次ぎをさせていた  
が、御守書に思ひました。

手術直前にお救い

「目でも早くお案内させていた  
へ」とするのですが、その方は  
小娘のお婿さんより上座にいら  
して居られ、お誘ひしてもいつ  
と教とは何ぞや」という御教をそ  
うに氣が一人の女に招致させて  
いたのだと相聞させていたに  
て、それよりその方はさうい  
わがせていたのだのは、この  
よに氣が一人の女に招致させて  
いたのは、その方がまた他の方

# 喘息の発作治まり

交通事故賠償にご守護

橋村和子

[illegible]

ころ、御守護殿に参拜するもの動  
めがたつてしまふのである。  
初めに参りまして、すこゝ不忠  
信なことに四、五日後、人伝さ  
「先日の事他聞しては、五月内  
でもいつさ終りませう、書いれに  
書きあげよう」と先方から言っ  
てきた。腹中にごんごんに早く  
解決を付けていたがまだしだには  
ぬらひつきりとするや同時に、  
その大菩薩の力に感謝を奉  
げました。

明治大菩薩御守護殿にありが  
とございました。このお寺さま  
は知らない多くの人に招き合  
ひ受けますようにお祈り願ひ  
いたします。

生かみさん、この夏休みに有  
縁にて、また来ぐ通れるよう  
に、七月は伊藤前先生の「福  
善」植物学にいかせたいと思  
ひます。また八月廿一日は講  
習会で、御水哲姫学を兼ね  
て、水の書いれを万五圓に一冊  
頒布に行かせていただきます。

できるだけ多くの中学生の寄さ  
る参加のお祈りをいたします。

一記

△植物採集  
△日時：七月二十日、二十四  
日  
△場所：市内安代校井（花野  
方面）  
△集合時間（朝思）七時半

△海水浴見学  
△日時：八月九日、十日  
△場所：日海堤、若狭町  
早瀬、三万五回レインボウライ  
ンめくり（二體間の南側は  
自由）池水沼、磯手釣堀、美保  
屋子丸池等開闢所  
△出発：九日午前七時三十分  
（バス）

△物品：翌年後八時教会  
△持参品：甘の漬物、豆腐  
り、水筒、帽子、タオル、風呂  
具、折り紙、水鏡、腰巾着（古  
幣）、ナイフ、箸、ナイロ、ち  
敷（ポリ袋）、おやつ、小道具  
以内

△金費：小学生 二、〇〇円  
付添ひ学生 二、五〇円  
一般 三、〇〇円

小

中学生勉強会

△御用事いたく先生・伊佐義朗先生（元東京大学講師）  
△参加資格：小学四年以上の小学生

のみなさんが、この夏も全有  
満に、また驚くべき遊びのよう  
に、七月（佐佐木蘭生先生の）海  
で船遊びにいかにいたが  
す。また八月九日、十日は晴  
バスで、湖水沿い見学を兼ね  
水遊びをした三万前に、泊  
船船をけさせていたが、  
船はけが多くの中学生的の遊  
びが、船のお手しをいにかねる  
をたお新りいたします。

一記  
△日曜（七月）七月三日、二十四  
△場所：市内左衛門井（花野  
舎時間）（編者）七時半

△湖水沿い見学  
○日時：八月九日、十日  
○場所：日本橋、若葉美町  
早瀬（三万五）引水ライ  
のめぐり（一）船遊びの船は  
自由）湖水沿、遊生約四、美浜  
湖手た遊場所す  
▽出発：一日午前七時三十分  
（バス）

▽時間：十日午後八時教会  
▽時給品：九日の朝食、ア  
り、水筒、帽子、タオル、洗面  
具、手紙、湖水沿、腰上毛（古  
ネタ）ナリ、夏履、ナイロ、ろ  
敷（水引き）、おやつ、小道具等  
以内

△金費：小中学生 ニ、〇〇円  
村道へ学生 一、五〇〇円  
一 股 100円

自然農法試験田だより



明主の御教を拝して、人... 自然農法による... 試験田の様子... 6月14日(土)田植え後...

田植え、実りの秋へ出発

前日、伊佐野... 田植えの様子... 6月14日(土)田植え後... 実りの秋へ出発...

腎臓で入院2度

仕事もできなかった私 中野ちえの... 腎臓で入院2度... 御浄霊で救われた喜び...

おかげ話

おかげ話... 腎臓で入院2度... 御浄霊で救われた喜び... 中野ちえの... 仕事もできなかった私...

決心した途端、父入信

専従のご用頂だいて 星 美也子

今年の春、高校卒業した... 決心した途端、父入信... 専従のご用頂だいて...

れいめい俳壇

五月選句

五月選句... 俳壇... 中野ちえの... 腎臓で入院2度...

六月選句

六月選句... 俳壇... 中野ちえの... 腎臓で入院2度...

人生の歩み、最後の日... 決心した途端、父入信... 専従のご用頂だいて...

おかげ話... 腎臓で入院2度... 御浄霊で救われた喜び... 中野ちえの... 仕事もできなかった私...